

シリーズ「マルチメディアとの上手なつきあい方」

第五回 新婚旅行と電子メール

株式会社コア マルチメディア課 河村 孝

いざアメリカへ

私事で大変恐縮ですが、昨年の六月七日に結婚しお休みを頂き、新婚旅行でラスベガスとロサンゼルスに行つてまいりました。私にとっては、初めての海外旅行となりました。奥さんは、三回目になります。

もちろん、携帯用の六百グラム程度の小さなパソコンを持参しました。パソコン通信二フティで日本出発前に、JTBのデータベースを使い宿泊先のホテルの設備を検索していますので、パソコンに使用する電源プラグの形状等は確認済みです。海外にパソコンを持参するときは、電源プラグの形状の他に100Vでない場合もありますので、注意が必要です。

しかし、電話についての仕様はデータベースに掲載されていないので、現地に対応です。ホテルの電話をみると、日本と同じモジュラージャックです。しめしめ。さっそく、電話機をはずしてパソコンに接続し、外線の発信番号を9に変更する等の設定変更をします。(日本では外線の発信は0が通常ですが、アメリカでは9が一般的です。)電話番号もラスベガス市内のアクセスポイント(接続電話番号)に変更し、市内電話料金で東京まで接続できるようにします。

また、ホテルの電話による外線使用はあらかじめフロントでクレジットカードを申し出る必要がある場合があります。私もフロントで身振り手振りで伝えて、手続きをしました。何回か試行錯誤がありました。つながらり画面に「ようこそニフティサーブへ」の日本語の文字がでた時はうれしかったですね。アメリカのラスベガスから太平洋を越え、はると日本の東京のパソコン通信に接続できたのです。

さっそく、電子メールを確認します。客先からの問い合わせや結婚おめでとうのメッセージ等が入っていました。電話をいったん切つて、丁寧に今ラスベガスにいる等の返事や見積もりの件などをワープロで書いた後に、再度接続をして送信しました。会社の事務所には、披露宴お礼のFAXもしました。

電子メールのすこさ

時差も距離も関係なく、連絡がとれ、仕事に具体的な手が打てるというのは、本当にすごいのと思いました。今年に入って、何通の電子メールを書いて送信したかをざっと計算すると、少なくとも千通以上になります。もちろん、この中には仕事に直接関係するものもありますし、客先からのパソコン使用方法等の問い合わせのようなものや、メーリングリストもありますが、積みもり積もつてこれだけの量の情報をやりとりしているのは、我ながらすごいなと思います。

日常の生活の中で、これだけ多くの情報を受発信するのは、手紙というメディアでは書くのも大変ですし、切手代もかなり無理だったでしょう。しかし、電子メールという新しいメディアにより、これだけ自分の世界が大きく広がったというのは事実です。だからこそ、インターネットを使い仕事をしている方は、ホームページもいいが、電子メールが一番便利だと必ず言います。

しかし、新婚旅行中にもかかわらず、パソコンを打っているのがいいとはいえないでしょうが……。

「尊敬、」感謝をお待ちしております。 E-mail:taka21@taka21.com